



アジア地域におけるコベネフィット型環境汚染対策推進事業

平成28年度予算(案)
765百万円(750百万円)

背景・目的

- 中国のPM2.5問題を始め、急速な経済発展・都市化に伴う大気汚染、水質汚濁等の環境汚染、エネルギー消費の急増はアジア各国における深刻な課題。
- 環境改善、温室効果ガス削減の双方に効果を有するコベネフィット・アプローチが有効。
- 既存の地域的な取組の活用、我が国の経験や技術を活用したコベネフィット型の能力構築や汚染対策を戦略的に促進。

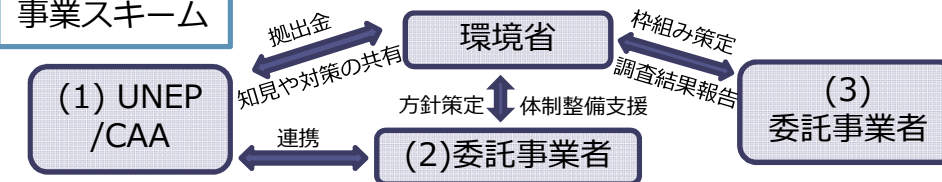
期待される効果

- 我が国の国際貢献の強化、越境大気汚染の影響緩和
- CO2排出削減ポテンシャルの拡大、技術の海外展開への寄与

事業概要

- (1) 大気汚染に関する既存の地域的な取組の活用 (182百万円：UNEP及びClean Air Asia拠出金)
 - (2) 中国をはじめとしたアジア地域における対策推進に向けた能力構築・体制整備事業 (309百万円：民間団体委託)
 - (3) 我が国の環境技術を活用したコベネフィット技術の実証、及びモデル構築支援事業 (274百万円：民間団体委託)
- <実施期間：H26から30年度まで>

事業スキーム



大気汚染に関する既存の地域的な取組の活用

【UNEPへの拠出】

- ・大気汚染等の科学的な知見の集積
- ・地域的な取組を包括する合同フォーラムを通じた地域連携の推進



【CAAへの拠出】

- ・「アジアの清浄な都市大気環境のための指針」作成、及び能力構築
- ・都市大気環境に関する政府間会合を通じた課題や対策の共有

中国をはじめとしたアジア地域における対策推進に向けた能力構築・体制整備

我が国の地方自治体を中心とし、中国等の都市を対象に、大気汚染対策と低炭素化の両方を見据えた人材・組織の能力構築、モデル事業や共同研究の実施等の支援を強化・促進



国内自治体・企業等の連携体制構築

我が国の環境技術を活用したコベネフィット技術の先導的導入実証、モデル事業

政府間会合を通じた方針の決定・進捗管理、及びモデル事業の展開

- ・コベネフィット型対策導入戦略の策定、及び人材育成と組み合わせた実証実施
- ・水処理分野における省エネ、創エネ技術の公募型モデル構築支援
- ・国内環境産業等への情報発信・共有



二国間クレジットへの展開、アジア地域の低炭素化・環境汚染緩和等